

差別撤廃のため、率先した 企業努力を 同企業連総会

第38回和歌山同和問題企業連絡会総会を4月8日、和歌山勤労福祉会館(プラザホープ)でひらかれ、同企連に加盟する企業や事務局が参加した。

総会は、司会の開会宣言のあと、議長、書記の選出をおこない、安藤康志・関西電力和歌山支店・代表幹事が開会あいさつをおこない、つづいて来賓から祝辞がのべられた。

議事は、代表幹事事務局から2015年度の活動実績報告があり、各研修事業担当の企業からは、新人社員合同研修会、現地研修会、中堅社員研修会の結果報告、事務局会計担当企業か



差別の撤廃を誓い合った

年度活動予定、事務局会計から予算案が提案され、満場一致で可決された。なお総会終了後、懇親会がひらかれ、和やかな雰囲気の中お互いの交流を深めた。

【来賓】

田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長、宮本修作・部落解放同盟和歌山県連合会書記長、野口道彦(二社)和歌山人権研究所理事長、岡本圭剛・和歌山県商工労働部部長、有馬専至・和歌

6月4日・5日の2日間、第61回定期大会を白浜でひらく。運動方針と執行役員選挙、そして、この1年間の具体的なとりくみが決定される。いま部落解放運動は大きな節目のときにある。

り、なんとしても法制度確立をめざしていかなければならぬ」と強く訴え、人権フォーラム実行委員会を代表して二階俊博・自民党総務会長があいさつした。記念講演として自民党・政務会長の稲田朋美・衆議院議員が講演に立ち「人権全般にわたる法制度につい

政務調査会内に人権問題にかかわる特命委員会が設置され、そのなかに部落問題にかんする小委員会が設置され、具体的な法案の検討がなされるようになった。4月28日に開催された小委員会では、法案の骨子が特命委員会、そして小委員会

主張 人権の法制度にむけ、 ともに闘うことを誓い 大会を成功させよう!

昨年、私たちは「同和対策審議会」答申50年、そして「部落地名総鑑」発覚40年と県をはじめ市町村に要請行動を展開してきた。そして、11月にはその集大成として「人権課題解決に向けた和歌山県集會 人権フォーラム」実効性のある法制度制定を求めて「」を

てはさまざまな問題があり現段階では無理ではあるが、部落差別に特化した個別法の制定をめざしていき「たい」とのべた。それ以後、法制度に関する情勢が急速に変わってきた。今年に入り部落差別に特化した法整備の議論がすすみ、自民党・

に入るとされている。今回の法律案は「部落差別の解消の推進に関する法律」という名称で、第1条目的・第2条理念からなり、7条の法律案とされている。とくにこれまでの法律と違う点は、具体的な事業・施策は明記されていないが、部

落差別は決して許されないという「理念法」という性格が強いという点である。しかも、これまでの法律や答申にうたわれていた「同和」問題ではなく、「部落差別」という文言を法に明記して、現在も部落差別が存在し、情報化の進展にともない差別が変化していることをふまえたものとなっている。また「同対策」

今後、党内での手つづきを経て、与党協議、野党協議に入ってくるであろうが、私たちも今国会でこの法案の制定に向けさまざまにとりくみを結集して、人権の法制度に向けた突破口をひらいていこう。

研修での活用を 高野山夏季講座実行委員会

部落解放・人権夏季講座第47回(2016年度)第1回実行委員会が4月6日、HRCビルでひらかれ、今年の高野山夏季講座にむけて約30人が参加した。

谷川雅彦・所長のあいさつのもと、実行委員の自己紹介、経過報告、決算報告・監査報告があり、講座内容の検討に入った。参加者の半数は、高野山がはじめてということがアンケートでわかった。参加者数も底から少し回復し、引きつづき

高野山での開催を。また、今年には障害者差別解消法が施行され、行政や社会福祉法人などへの研修で活用できるよう、参加者拡大にとりくむことが確認された。次回の実行委員会は、7月下旬の予定。

山市産業まちづくり局産業部長、中原正裕・和歌山労働局局長 (順不同)

映画「徘徊 ママリン87歳の夏」

少子高齢化にともない、これからの日本は、医療・介護・保険・福祉の充実が大きな課題です。地域包括ケアシステムの構築が各地ですすめられつつあり、地元や関係当事者が地域で支えられる制度構築に大きな期待を寄せている。この映画は、認知症を発症した高齢の母と介護する娘のドキュメンタリー映画です。高齢の老親の介護や老老介護、独居老人対策は大きな社会問題であり、この上映

日時 5月28日(土) 14:00(受付13:30)
場所 県立図書館・メディアアートホール
連絡先 和歌山県平和フォーラム TEL073-42514180
部落解放同盟和歌山県連 TEL073-47312301

文化の窓

「子どもにウケる たのしい雑学」

坪内忠太:著、親講者社、2009年8月3日発行
ISBN:978-4-86081-283-6

「子どもに聞かれたら答えようと思い一読したが、決して「子どもだけにウケる」わけではなかった。先入観に浸りきっている大人に必見の一冊だ。「ホテルを何匹集めると新聞が読めるか」なんて、どうでもいい話と思いきや、電気のありがたさを実感させられた。安全な電気の供給が求められている。

◆お問い合わせは県連・教宣部まで
TEL 073-473-2301

今月のランチ TIMEデモ

第13回憲法の破壊を許さないランチTIMEデモが4月11日、和歌山市役所(京橋プロムナード)までをデモ行進し、約120人が参加した。次回は5月11日。



藤本真利子・県議(県連特別執行委員)もデモに参加

